

特殊詐欺対策の推進状況等について(令和5年10月末現在暫定値)

1 特殊詐欺手口別の被害状況

※被害金額(万円)、千円以下は四捨五入

	令和5年10月末		令和4年10月末		増減	
	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額
特殊詐欺全体	267	72,072	174	58,591	+93	+13,481
オレオレ詐欺	20	6,172	17	6,683	+3	-511
預貯金詐欺	38	7,041	35	4,283	+3	+2,758
架空料金請求詐欺	97	42,136	75	41,352	+22	+784
還付金詐欺	66	7,509	30	3,310	+36	+4,199
融資保証金詐欺	13	2,980	4	570	+9	+2,410
金融商品詐欺	5	2,054	0	0	+5	+2,054
キャッシュカード詐欺盗	22	3,349	10	1,699	+12	+1,650
ギャンブル詐欺	1	7	3	694	-2	-687
その他の特殊詐欺	5	824	0	0	+5	+824

2 水際阻止の状況

※水際阻止額(万円)、千円以下は四捨五入

	令和5年10月末	令和4年10月末	増減
水際阻止件数	535	432	+103
水際阻止額	10,097	9,518	+580
水際阻止率	67.1%	71.9%	-4.8%

※ 水際阻止の例

- 【金融機関】 窓口で、高額の引き下ろしをする顧客に、用途の確認をするとともに、早期に警察へ通報したものの。
- 【コンビニ】 電子マネーカードの購入客に事情を確認し、詐欺だと気付いたものの。
- 【ATM利用客】 携帯電話で通話をしながらATMを操作する客を詐欺被害ではないかと疑い職員に連絡したものの。

3 特殊詐欺被害防止に向けた対策

① 固定電話対策

(犯人と電話で話をしない)

- ・購入補助金制度創設の働き掛け
- ・常時留守番電話設定、防犯機能付き電話の普及促進等についての働き掛け
- ・通信事業者との協定締結

② 広報活動

(嘘の話にだまされない)

- ・報道機関を活用した情報発信
- ・関係機関・団体と連携した情報発信

③ 水際対策

(お金を渡さない)

- ・金融機関・コンビニ等への対応強化依頼
- ・コンビニ協会と連携した電子マネー封筒の導入